

第40号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈亀山 九島 禪 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住職 奥田啓知(智證)

龍 灯

阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工決定！

拉致問題と仏教説話

永住帰国は拉致被害者本人の意思で

北朝鮮による日本人拉致問題の解決に曙光がみられたのにもかかわらず、クアラルンプールでの日朝国交正常化交渉は不調に終わりました(十一月三十日現在)。拉致被害者五人が北朝鮮に残している子供たちやご主人の早期帰国や北朝鮮が「死亡」としている被害者八人についての死因などの疑問点に関する明確な回答も言質をとることができませんでした。

北朝鮮をめぐる問題が、時々刻々と変化する世界情勢のなかで硬直化が懸念されます。拉致問題の解決、とりわけ拉致被害者が北朝鮮に残してきたご家族の帰国が急がれます。今回の決定には日本政府や拉致被害者の家族の意思が強調され、北朝鮮に残してきた家族を思っただけか、拉致被害者本人のお気持ち当初、明確ではありませんでした。

インドにこんな神話があります。アスラとインドラという神様がいました。アスラは正義の神で、インドラは力の神です。

アスラには美人の娘スジャータがあり、娘をインドラに嫁がせたいと願っていました。ある日、インドラは美しいスジャータをみかけると、暴力で犯し、自分の宮殿へ連れ帰りました。

怒ったアスラは軍勢を集めてインドラに戦いを挑みました。敗れても敗れても執拗に戦うのでした。面倒になったインドラは、正義の神のアスラを神々の世界である天界から追放し、魔界に落としました。

仏教はこの神話にもとづいてインドラを帝釈天と呼んで護法の善神とし、アスラを阿修羅と名付けて魔神にしてしまいました。

正義の神がなぜ魔神になったのでしょうか。過去のことをいっても根に持って、他人を赦さないでいる阿修羅の狭量さを仏教では不可としたのです。

なぜなら、帝釈天に犯され拉致されたスジャータは、のちに幸福な帝釈天の妻になって妃になっっているのです。たしかに、



北朝鮮に残してきた子供について、記者の質問に答える蓮池薫さん。妻の柘木子さんは思わず涙ぐんだ。=25日午後4時30分、新大阪駅構内

帝釈天の最初の行動はよくないにしても、過去の出来事をいつまでも根に持って、みずからの正義にこだわり続けている阿修羅の狭量さのほうがかえって恐ろしい。仏教はそのように教えるのです。

北朝鮮での二十五年という歳月の重み。絶望のなかで築き上げた幸せ。地村夫妻と蓮池夫妻曾我ひとみさん、それぞれ事情がちがいが、一概には論じられませんが、その幸せは今、日本政府や肉親によって壊されようとしています。

勿論、拉致事件は北朝鮮による国家犯罪であり、現状回復は当然の要求ですが、拉致被害者家族の永住帰国に関しては、拉致被害者本人の意思を無視するわけにはいきません。北朝鮮に残しているご家族の帰国を実現し、北朝鮮の呪縛から開放したのち、彼らの結論をそっと待つのが寛容かと思えます。

第九回修養会のご報告

廃寺復興の奇跡を聞く

十一月三日快晴の下、第九回修養会が行われました。本年は九年ぶりに大本山萬福寺に登り、塔頭萬松院と瑞光院を拝塔し、源氏物語ミュージアムを見学しました。

「大本山萬福寺に普茶料理と奇跡を訪ねる旅」とのテーマで、荒廃した寺が復興する奇跡話に一同感心しきりでした。

三連休の中日のためか、名神高速道路京都南インター出口が渋滞しており、急遽予定を変更し、京都東インターから山科経由で萬福寺にむかいました。昨年に引き続きの帝産バス。ドライバー、ガイドともども昨年に引き続きの担当。四十分の遅れも、何のその、帰阪解散時刻も予定通りでした。

大本山総門前にある萬松院では、龍溪禪師のお墓を護る天光塔にお参りをし、再建された本堂へ。九年前の第一回修養会で訪ねた時は廢屋同然

の本堂も立派に再建され、堂内には、南画家の直原玉青画伯による六十二面の襖絵が見事でした。

九十八歳の画伯が、四日間で一気呵成に描きあげたとのこと。竜、虎牡丹、唐獅子、そして九島院での龍溪水定図など、年齢を感じさせない力強い筆跡に圧倒されました。

萬松院は、先代弘忠和尚も兼務住職されましたが、事情があり、なかなか再建できませんでした。中島義晃和尚に代わってから機が熟し、不思議に障害が次々と解決され立派に再建されました。

その後、住職の案内で、大本山萬福寺を巡りました。とても広く閑静な境内は歩き疲れるほどでした。毎月三日は宗祖隠元禪師の命日で、開山堂では月忌法要が厳粛に勤められていました。尚、祥月命日の四月三日は、全国から僧侶方や檀信徒が大勢のぼってこられます。

次に訪れた瑞光院では、院主手づから普茶料理に舌鼓をうちながら、瑞光院復興の奇縁話を聞きました。

院主の岡田亘令和尚は同院の派祖、即非禪師帶來の即非蓮をはじめ、百八種の蓮を栽培されてきました。現在は本山に寄付しています。

有史以来数例しか記録がない、双頭の蓮(ひとつの茎に二華ついた)が咲いた折、マンション建築で不要となった庭石を無償で提供されるなど奇縁を得て、直原玉青師から庭園が寄進されました。

庭園は京阪電車の車内掲示に写真が載っていますが、庭師も造園コンクールで優秀賞を得たそうです。

双頭の蓮はその後も一度咲きました。その時には観音堂が寄進されたとのことでした。

同寺にも玉青画伯の襖絵があり、襖に描かれた鷲の絵にむかって、本物の鷲がとびかかったとのこと、ユーモアあふれる院主の語り口に、一同おもしろおかしく聞きほれました。まさに蓮が荒れた寺を見事に復興させたといつてよいでしょう。

最後に数年前に宇治市が建設した「源氏物語ミュージアム」を見学しました。黄檗山

からは二十分ほどの所にあります。

宇治市も観光に力をいれ、源氏物語「宇治十帖」にちなみ、瀬戸内寂聴さんを名誉館長に開館され、復元人形や映像で再現しています。優雅な気分を帰路につきました。

総勢五十人の参加者でしたが、今後もよろしく修養会を盛り立ててください。来年は岐阜市金華山麓にある岐阜大仏(黄檗宗正法寺)を拝塔しようかと考えています。



萬福寺天王殿での参加者50名

阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工決定!

年 忌 表 (平成15年)

回 忌	死 亡 年
1 周 忌	平 成 1 4 年
3 回 忌	平 成 1 3 年
7 回 忌	平 成 9 年
13 回 忌	平 成 3 年
17 回 忌	昭 和 6 2 年
25 回 忌	昭 和 5 4 年
33 回 忌	昭 和 4 6 年
50 回 忌	昭 和 2 9 年

※来年度の年忌表をかかげます。お位牌や過去帳などをご確認下さい！尚23回忌・27回忌・37回忌・43回忌・47回忌などは禅宗や当地域では執行しません。

年忌法要は祥月命日前の土曜・祝日曜にされることが多く、他家の法事と重なり、ご希望に添えない事もあります。遅くとも1カ月以上前までに当院まで、日取りと場所などのご希望のご連絡をお願いします。

又、ご法事などに、龍燈会館（椅子席）・本堂をご利用ください。精進落としの料理・酒類なども準備できます



松 隠 堂 (重要文化財)

寛文3年(1663) 創建
元禄7年(1694) 再建

今夏、賽銭泥棒がはいりました。お盆に本堂正面に置いていた「平和の鐘(戦艦陸奥の遺材でつくられた)」の木製の賽銭箱が盗まれました。また、龍燈会館設置の「盲導犬育成基金」の募金箱が荒され、真前のお供えもとられました。物騒なご時世ですので、ご参詣の折には、手荷物にはくれぐれもご注意下さい。

今春に頒布しました「本堂改修記念 謹製お念珠」が、まだ少々、残っています。九島院旧本堂の支柱(檜)を加工装飾したもので、なかなか上品な仕上がりにも好評でした。ご親戚や知人にもご紹介下さい。ご購入いただければ幸いです。前回お送りしたお知らせを同封しております。滅多にないお念珠ですので、今一度ご案内申し上げます。

○松隠堂大修復募財勸進
大本山萬福寺の松隠堂の解体修復工事について、大本山より各末寺に「松隠堂大修復募財勸進」の案内が来ました。重要文化財である松隠堂は、関備前長政夫人の寄進で、宗

祖隠元禅師が示寂まで過ぎた建物で、大本山の開山堂の横にあり、本山行事には欠かせない建物です。修復工事費十億円のうち、萬福寺負担分三億円が、平成十九年十二月までに調達しなければなりません。平成の大不況下、誠に申し上げにく存じますが、ご募財頂ければ幸いです。金額の多寡は問いませんが、幾らかでもご寄進頂ければ助かります。



○参詣時に置き引き注意！

○謹製「記念御念珠」頒布

鼻の差に 泣いた馬券が
空を舞う

相合傘句会10/22 句題「はな」で 天位

今年こそ星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ(西大阪線対決)祈願!

編集後記

▼田中さんがノーベル化学賞を受賞しました。東北大学を卒業して島津製作所に勤務しただけの経歴は、人々に驚きを与えました。また、その飾り気のない人柄も茶の間の人気を集めました▼テレビのワイドショーで見ましたがポンド君とあだなで呼ばれた外科医がいたそうです。彼は生来、手先が不器用で、心臓手術に何十本もの生体用ポンドを使っていたそうです。一流の大

学出身という経歴を売り物にして、副院長まで出世したそうですが、馬脚を表しクビになりました。
▼「羊頭狗肉」ということは、禅書「無門関」が字源で、「羊頭を懸けて狗肉を賣る」からきており、立派な見本や看板を出して粗末な物を売る例えで、また同じ羊を使った諺の「羊質虎皮」は、内実は羊で虎の皮を被っている。見かけ倒しで内容が伴わないことを言います。いずれの言葉も実体が伴わないことを例えています。
▼雪印食品や日本ハムという業界を代

表する企業まで、狂牛病対策の補償金をせしめようと、輸牛肉を国産と偽るなど、品質表示の偽装をしていきましたまさに「羊頭狗肉」を地で行くご時世です。
▼要は中身なのです。肩書や外見で判断してはいけません。また、自らも内なる自己を研鑽し、看板に偽りのない生きたかたをしたいものです。来年の来、是非に中身を点検してください。
墓地管理費のご納付をお願いします。墓参の折り、郵便為替でも結構です。

●水都・大阪再生！

小生が参加している大阪市仏教会・大阪青少年教化協議会主催で「水都大阪 淀川めぐり」のイベントが、11月9日(土)に12月下旬の寒気のもと実施されました。このイベントは小生が企画したものです。

建築早々の湊町リバープレイス棧橋から出航し、道頓堀川・木津川・堂島川・大川より毛馬の閘門を越え新淀川を遡上し、菅原大橋付近から帰路につき東横堀川・道頓堀川を巡るコースで、水都大阪の過去、現在、未来の淀川と人との触れ合いを、水辺の視点で考えようとの趣旨でした。

船上では、枚方市民劇団「ザ・鍵屋」のメンバーによる「淀川三十石船舟歌」のほか、「ふるさ都・夢づくり協議会」より、淀川再生、自然浄化大作戦のお話を聞きました。

上方落語には、舟遊びを描いた「遊山船」という斬もあります。地盤沈下のため橋桁の低さが障害となつて自由に通航できない状況です。唯一、時季を選ばず運航できる船オクトバス号をチャーターしました。

川面から見た大阪は、コンクリートの護岸でしっかり固められ、人々との交流を拒否しているようで毛馬の閘門から新淀川にはいって、ようやく河川敷で野球に興じる人々の姿を目にする有り様でした。

水都再生をめざすNPO(民間非営利団体)法人「大阪・水かいどう808」などが中心となつて、道頓堀川での淡水真珠の養殖や淀川の船運復活、道頓堀川での水泳大会など、さまざまな計画が実行されています。

道中、コンクリートの護岸の随所に路上生活者のブルーシートが目につき、水都復活よりも「一日も早く大阪の景気をよいうせんかい!」と、この町が悲鳴をあげているように思えました。



お知らせ

◎のぼり奉納の募集 1旗金2千円

「南無観世音菩薩のぼり」を入れ替えます。1年間境内に掲げます。昨年同様お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は寺務所まで、お声をかけてください。

今年こそ星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ(西大阪線対決)祈願!